

光友会報

令和2年3月31日
第51号

発行責任者 細野泰司
発行者 光明学園光友会
編集者 茅原田真澄
印刷所 (有)片野印刷

会長挨拶



会長
細野 泰司

光友会の皆様におかれましては、日頃より、活動にご尽力いただき感謝申し上げます。

光友会は大正十五年に母校である相模原高等学校の名誉ある伝統を育み、更なる発展を願うと共に、会員の相互の親睦を図り、その絆を深める活動を行っていくことを目的に発足致しました。

母校の百年を振り返りますと、学祖山崎弁栄上人が提唱された「次代の地域社会をけん引する真の人間を作る」というお考えのもと、「すべてに智慧と慈悲をもって一生懸命努力する」とこの大切さを基本とした教えが脈々と引き継がれております。そして、言葉の通り、神奈川の私学として確固たる地位を築き、地域社会に貢献する多くの人材を輩出していることを誇りと感じております。

これもひとえに長きにわたり学園の

教育活動に携わって頂いた多くの方のお蔭であると感じております。

学園創設百周年に向けて、学園アリナの御絵像更新事業や大規模な懇親会の開催等をおこなって参りました。

お力添えを頂いた多くの皆様に感謝申し上げますと共に、皆様との更なる連携を図りながら、母校の益々の発展に尽力していく所存でございますので、ご協力の程お願い致します。

創立百周年の誇り



学校長
天野 雅秀

光友会の皆様には、日頃より多大なるご支援とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

令和二年度から校長に就任致しました天野雅秀です。微力ではございますが皆様方のご支援をいただき本校の発展のため最善をつくし、この重責を全うしたいとお願いいたしております。今

後ともご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年度は創立百周年を迎えた節目の年となりました。昨年十二月には盛大に記念式典および祝賀会を挙行できましたことに感謝を申し上げます。施設面での教育環境や生活環境の充実を図り、教育内容も先を見通したものと変更できました。更に教育の充実を進めてまいります。学祖山崎弁栄聖者による「智慧と慈悲をもって明るく幸せな社会の実現に努める人間を育成する」という建学の精神を基本にしながら、校訓である「すべてに智慧と慈悲をもって一生懸命に努力する」ことを念頭に、まごころと思いやりのある豊かな人間性を有し、社会の発展に貢献できる人材の育成に力を注いでおります。卒業生の皆様の社会における活躍や御貢献は、在校生や教職員の誇りでもあります。生徒一人ひとりの人生が心豊かなものになるために、今後も生徒、保護者の皆様から信頼され、卒業生の皆様や地域の皆様から愛される学校を目指し努力を重ねて参ります。

次に学園の近状をお知らせいたします。令和元年度第六十五回卒業式は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応で時短をし、卒業生と教職員のみのも式典となりました。その中でも五百三十一名の卒業生のみなさんは笑顔でしっかりと足取りで本校を巣立っていきましました。進路状況も良好で、難関私立大学の合格をはじめ、各々自分のキ

ャリアデザインを考える中で進路先を見つけておりました。生徒会活動では、神奈川県をはじめ、相模原市でも推奨しているSDGsの取組について、自分たちが出来ることから始めようを合言葉に、神奈川県議会会議事堂にて行われたハイスクール議会2019の参加や光明祭売上金のユニセフ基金への寄付等多くの活動を、生徒たちが主体的となって取り組んでいます。

令和二年度の入学生は三百九十五名を迎え入れます。智慧と慈悲を兼ねそなえた人間として成長できるように教育活動を続けて参ります。新入生の成長も見届けていただければと思います。部活動においては活動が目覚ましく、運動部では空手道部・新体操部・男女ソフトボール部・硬式野球部・硬式テニス部など、文化部では和太鼓部・吹奏楽部・文芸部などが県大会以上で活躍しております。この三月には全校選抜大会が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応で中止となり残念でした。今後も皆様の期待に添う活動を心掛けて参ります。どうぞ後輩の活動を応援していただくとともに、今後とも学園発展のためにお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

末筆ながら、光友会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。





教諭 山本 静男

令和元年十二月七日、小雨交じりの寒空の下、光明学園創立百周年記念式典が相模女子大学グリーンホールで開催された。

神奈川県私学振興課長、相模原市長

そして、神奈川県私立中学高等学校協会理事長を始め、中学・高校・大学、その他の学校関係者、地元地域の方々、今まで学園を支えてくださった元学園教職員の方やPTAの方々などを来賓とし、そして、在校生は二、三年生と一年生の代表が式典に参列した。教職員は、男性が濃い紫と淡い紫のストライプ柄に百周年記念ロゴの入ったネクタイ、女性が同様の柄のスカーフを身に付け、心一つにしてお出迎えをした。

式典オープニングは、本学園をドローンで空撮したシーンの放映であった。舞台スクリーン一杯に映し出される校舎、緑鮮やかな人工芝のグラウンド。そして学園中庭の満開の桜など、



井上理事長のご挨拶

場内生徒からどよめきが起きるほど、改めて本学園の美しさを再確認した。

式は長澤常務理事による開会の辞の後、理事長、校長挨拶と続いた。井上理事長はその挨拶で、百周年を迎えられたお礼と創立百周年に至るまでの経過報告、そしてこれから百一年に向けての決意を語られた。清水校長は、弁栄上人の建学の精神である「智慧と慈悲」を踏まえながら現在に即した教育実践の報告と、私学の独自性、多様性を発揮し、地域社会に愛される学園を目指すとの話があった。続いて、本学園卒業生で構成される光友会細野会長から祝辞を受けた。光友会は大正十五年に発足し、学園を発展させるために活動している会である。今回、第一・

第二アリーナの御尊像制作にあたり、寄付を頂いた。

次に功労者特別表彰があった。当麻山無量光寺第六十八世住職飯田覚隆上人、グラウンド人工芝化に尽力された長永スポーツ工業株式会社社長長谷川信様、弁栄上人の仏画・遺墨を多数寄付頂いた故谷慈義上人である。次に神奈川県を代表して私学振興課長松尾聖司様より祝辞を頂戴した。共に生きる社会の実現を目指しましょうというお言葉と、現在は過去の努力で刻々と変わる。新たな輝かしい歴史を刻まれることを祈るとのお言葉を頂いた。



本村賢太郎相模原市長

本村賢太郎相模原市長からは、多くの人に愛され、大正、昭和、平成、令和と建学の精神を発信しながら現在に至る光明学園への賛辞と、これからも

それを絶やさず未来にそのたすきを渡して欲しいとお言葉があった。また光明生に対し、学校で培った大切な絆と学生時代の楽しさを思い出に、社会に出てからもチャレンジ精神を持って欲しいとのエールを頂いた。

神奈川県私立中学高等学校協会理事長の工藤誠一様からは、人は人生の間に態度を以て答える義務があり、教育は子どもの心に希望を育み次につなげる使命があると話し、建学の精神を元に時代の問いかけに答えてきた光明学園への賛辞と、これからも光明学園の思いが広まることを祈ると言葉が結ばれた。



和太鼓部の演奏

令和元年度 創立百周年 光友会懇親会



令和元年十一月九日(土)、相模原市内にあるホテルラポール千寿閣において光友会懇親会が開催されました。

今年度は、学園創設百周年の節目の年であることから、例年と比較し、多くの方にご出席を頂きました。ご来賓といたしまして、井上正明理事長、長澤博文常務をはじめとする学園関係者の皆様にご出席いただきました。また、野球部やソフトボール部をはじめとする多くの部活動卒業生の皆様にもご出席いただきました。お忙しい中、百十二名の方にご出席頂いたことを心より感謝申し上げます。



百周年の節目で多くのご出席者

祝 創立100周年 令和元年度
七明学園相模原高等学校 光友会 懇親会



細野会長から井上理事長へ
ご尊像制作経費の贈呈

懇親会は、十七時より開始となりました。今年度は、創立百周年記念ということもあり、式典の部と懇親会の部の二部に分けて開催されました。

まずは、式典の部が執り行われました。吉川正剛光友会副会長より開式の言葉、細野泰司光友会会長より、ご挨拶が行われました。

続いて、式典の部のアトラクションとして学園吹奏楽部による演奏が行われました。コンクールと重なってしまい、吹奏楽部の卒業生にも協力頂き演奏が行われました。演奏曲は、「お酒ソングコレクション」～酔奏楽の為の～松田聖子コレクション」と「ジャパニーズグラフイティ12」という計二曲を演奏して頂きました。この日のために、沢山の練習を重ねており、当日は会場にいた多くの方より大きな拍手が起り、生徒たちはとても誇らしげな表情が窺えました。

その後、ご来賓を代表いたしまして、

井上正明理事長よりご祝辞、続いて贈呈式が行われました。贈呈式では、細野会長から井上正明理事長に対し、本会からの百周年記念事業である阿弥陀如来ご尊像制作経費の贈呈が皆様の見守る中で執り行われました。

式典の部の最後に、齋藤幸成光友会副会長よりご来賓の皆様をご紹介させて頂きました。

懇親会後半は、懇親の部として食事を交えながら、様々なアトラクションが行われました。

まずは、学園常務理事長澤博文様より乾杯の音頭がとられました。歓談の時間では、集まった会員の皆様、当時の先生方や友人との思い出を語り、青春の日々を懐かしんでいたように感じました。



吹奏楽部による演奏

歓談の合間には、アトラクションとして、清水尚人校長より、学校紹介が行われました。本校の今年度の取り組み



和やかな雰囲気での懇親会

みや、部活動実績など、在校生たちの活躍が報告されました。

続いて、伊藤旭栄先生より、ビデオ上映が行われました。今年度は、ドローンを使用して撮影した映像や在校生へインタビューをした映像が上映されました。上空から見る本校の景色や、相模川や丹沢連峰の雄大な山々の映像をみて、百年の歴史を感じ、感動している方が多くいたように感じました。

最後に、茅原田真澄副会長による閉会の言葉として「今年度は、百周年という節目の年であり、その時間を多くの卒業生の皆様と共有することができたことを喜ばしく感じております。参加頂いた卒業生、ご来賓の皆様、ご協力を頂いた皆様に感謝申し上げます。今後、本会の皆様との交流を大切にしたいので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。」との趣旨で会が締めくくられました。

光友会活動報告



令和元年度の光友会の活動を、ご報告致します。



⑤ 全国高等学校野球大会 神奈川県予選大会

夏の全国高等学校野球選手権神奈川県大会の応援に参加しました。一回戦シード、二回戦七月十六日(火) サード、イーフォー相模原球場で、光友会より全校生徒教職員に百周年記念ロゴ入りマフラータオルの寄贈をさせて頂きました。

⑥ 第52回 光明祭

令和元年九月七日(土)・八日(日)に第五十二回光明祭が開催されました。光友会では百周年を迎えるに当たり、百周年記念事業と創設からの写真や資料に目を向け、在学当時の思い出に親しんでいました。

令和元年六月十三日(木)、学園体育祭に、光友会会長が来賓としてお招き頂きました。生徒たちの頑張る姿を応援させて頂きました。

④ 第63回 体育祭

令和元年六月八日(土)、PTA一心会における定期総会に、光友会会長がお招き頂きました。

③ 令和元年度 一心会総会

令和元年五月十八日(土)日、高等学校視聴覚室において令和元年度の総会が開催されました。

② 令和元年度 定例総会

平成三十一年四月九日(火)、高等学校第一アリーナにおいて入学式が挙行され、光友会会長も来賓としてお招き頂きました。入学者は、五百名でした。

① 平成31年度 入学式参列



▲第63回 体育祭



第52回 光明祭▶

⑦ 令和元年度 光友会懇親会

令和元年十一月九日(土) ホテルラポール千寿閣において、懇親会を開催しました。創立百周年も重なり吹奏楽部の演奏も行われ、百十二名と多くの卒業生が参加して頂き、在校時の話しなど盛あがっていました。

⑧ 創立百周年記念式典

令和元年十二月七日(土) 相模女子大学グリーンホールにおいて、学園創立百周年記念式典が開催されました。光友会会長が来賓としてお招き頂き、お祝いの言葉を述べられました。

⑨ 和太鼓部定期発表会

令和元年十二月二十三日(月)相模原市民会館にて開催されました。本会の役員も鑑賞させて頂きました。なお、吹奏楽部の定期演奏会は、今年度は新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

⑩ 第65回 卒業式

令和二年三月一日(日) 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、生徒は各教室での卒業式となりました。卒業生五百三十一名へ光友会から卒業記念品として校章入りのペーパーウエイトが渡されました。



退任のお知らせ



令和元年度をもって、退職される先生方のご紹介をさせて頂きます。清水尚人校長先生をはじめ日下部義明先生・陶山靖彦先生・志村均先生方が、御退任致します。長年のご指導に感謝申し上げますと共に、益々のご健勝をお祈り申し上げます。

なお、日下部先生、陶山先生、志村先生には囑託教諭として継続していただきます。今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。

編集後記

今年度は、兼ねてから準備を重ねてきた学園創立百周年の年となりました。光友会と致しましても、多くの事業を行って参りましたが、これもお力添え頂いた多くの皆様方のお蔭であると感じており、この場をお借りして感謝申し上げます。

現在、新型コロナウイルスの影響で学園は臨時休校となり、光友会の活動に關しても、集会による令和元年度定例総会を中止せざるを得ない状況となり、また、その影響により会報の発行が遅れてしまったことをお詫び申し上げます。

苦しい状況が続いておりますが、皆様方の益々のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。 茅原田真澄